

未知なる挑戦 競争から共創のまちづくりへ アドプト・ロードESAKA

江坂企業協議会 副会長 たきがわ みちゆき 瀧川 紀征

1. 地域づくり方針・目的

これまでのまちづくりを考えたとき、個々が頑張り競い合うことでまちを創成させ、みんなが<競争>をしてきた感が強いとおもわれます。

江坂企業協議会では、より「きれい・安全・安心なまち」とする事を目的に、<共創>すなわち、まちで活動を営む様々な人々が連携・協力し、お互いの利点を高めながら、様々な活動によって、新しい江坂のまちづくりに取り組んでいこうと考えています。

2. 取り組み内容

- (経過) ・昭和49年 南改札口早期開設促進期成会として発足。
 ・その後、西南吹田企業協議会⇒江坂企業協議会に名称変更。
 ・自主財源(加盟企業より入会金及び年会費を徴収)により運営

(目的に応じた様々な協議会等立ち上げ)

- ・「江坂まちづくり協議会」立ち上げ(地元自治会・学校・江坂駅と協力)
 - アドプト・ロードESAKA (H14.3.1 協定締結・延長約2.5km)
 - ①サインボード(「花のある街」絵画:4つの小学校から作品募集)
 - ②毎月1日はクリーンデー!
 - ③ミニアドプト:フラワーポット(約250箇所)の世話人紹介(年4回の会報にて)
 - ④不法駐輪・駐車の排除啓発実施
 - ⑤ゴミゼロ運動!江坂音楽フェスティバル・クリスマスコンサート実施
- ・「神崎川畔企業連絡会」立ち上げ(加盟する神崎川沿の企業22社により)
 - アドプト・リバー「水鳥」(H16.3.31 協定締結・延長約5.1km)
 - ①クリーンUP作戦実施 ②フラワーギャラリー設置 ③さくらまつり開催等
- ・H17.4.1 江坂駅周辺地域を喫煙禁止地区に制定・啓発活動実施
- ・ホームページ「江坂っちしよう」開設 <http://www.esaka.gr.jp>

3. 苦労点・達成度等

苦労点は、街の発展や時代の変化に応じて、一つの問題を解決後すぐに新たな問題が発生している事。達成度は、喫煙禁止地区制定によるタバコ吸殻30%減少等です。

4. 効果・反響等

- ・協議会で駐輪問題を始め様々な議題を行政(大阪府・吹田市)、自治会、各企業が議論を重ねる事により、それぞれの立場が判りあえる様になりました。
- ・「企業は地域社会と共存共栄するものである。」という基本理念を会員企業がよく理解し、その先見性に対する共鳴により加盟企業約300社程度の協議会に発展しました。

5. 今後の課題等

- ・今後、江坂が「きれい・安全・安心なまち」と多くの人に認識され、集まってもらうために、様々な問題点を協議し、解決していく必要があります。
- ・そのために、NPO法人「吹田江坂ビジョン21」(申請中)を立ち上げ、幅が広い年齢層の方に集まって頂き、それぞれの世代に応じた役割を検討し、様々な先進的活動に挑戦していきたいと考えております。

未知なる挑戦 競争から共創のまちづくりへ ～アドプト・ロードESAKA～

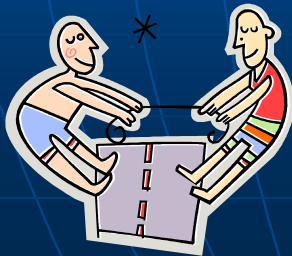
江坂企業協議会
副会長 瀧川 紀征

江坂企業協議会について

- 昭和39年～46年 区画整理事業(かつては田園地帯)
- 昭和45年日本万国博覧会にあわせ新御堂筋が開通
- 昭和49年発足(江坂駅) **南改札口早期開設促進期成会**
 - ◆ 西南吹田企業協議会に名称変更
 - ◆ 「**江坂企業協議会**」に名称変更 現在に至る
- 基本理念:「企業は地域社会と共存共栄するもの。」
- 協議会加盟企業 現在300社程度

江坂企業協議会の特色

- 自主財源(会費等)による運営
- 「江坂ビジョン21共創のまちづくり提言」を作成
- 目的・活動内容に応じ新たな協議会等を立ち上げ
 - ◆ 「江坂まちづくり協議会」(1999年)
自治会・学校・江坂駅長・企業等で組織
アドプト・ロードESAKA
 - ◆ 「神崎川畔企業連絡会」(2002年)
神崎川沿企業22社で組織 アドプト・リバー「水鳥」
- 競争から共創のまちづくりを展開



アドプトロードESAKA協定



協定範囲 延長約2.5キロ

アドプト・ロードESAKAの取り組み

■ サインボード

歩道側（花のある街絵画）
江坂まちづくり協議会内の
4小学校より募集
各学校1作品

道路側（環境標語）
同じく協議会内の
3中学校より募集



不法駐輪・不法駐車排除の啓発活動

毎月1日
クリーンデー！



**喫煙禁止地区制定！
吸殻 約30%減少**



ゴミゼロ運動「江坂音楽フェスティバル」



地元商店会との協力



創作子供服コンテスト



ポップなペットコンテスト

ミニアドプト

現在、世話をしている企業等 約50団体
花壇・フラワーポット 約250箇所



年4回の会報誌にて
路傍のガーディナーとして紹介

神崎川アドプト・リバー「水鳥」の紹介



今後、「きれい・安全・安心」なまちをめざし
NPOを立ち上げ、幅広い年齢層による
様々な活動を実施する予定です。
格別のご理解とご支援・ご協力のほど
よろしくお願い申し上げます！

